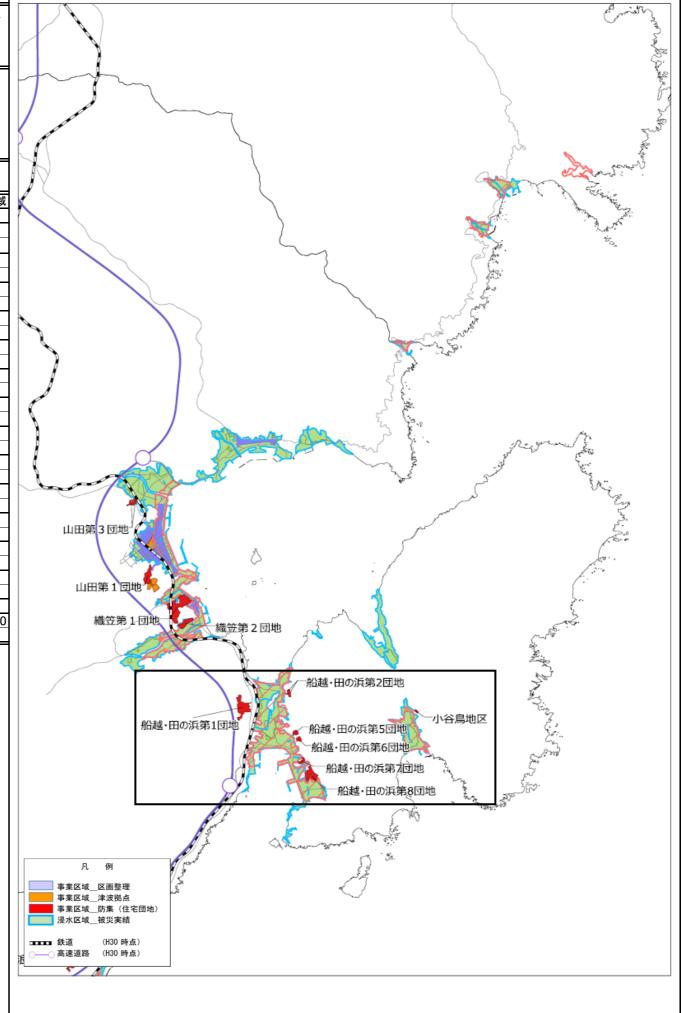
<u>1 カルテ R6.4時点 Reconstruction of the control of th</u>

#### 市町村名 山田町 地域名 船越では地区人口の2.6%が死亡又は行方不明となり(死亡者数55名、行方不明者数1名)、地区内家屋等のうち132棟が全壊、19棟 が大規模半壊となりました。また、田の浜では地区人口の9.2%が死亡又は行方不明となり(死亡者数115名、行方不明者数2名)、地 被害の状況 区内家屋等のうち324棟が全壊、3棟が大規模半壊となりました。なお、低地部の全ての観光レクリエーション施設が被害を受けたほ か、船越小学校も被災しました。 船越漁港は水産業の復興に不可欠な施設として再生する。 船越公園周辺は観光レクリエーションゾーンとして位置づけ、鯨と海の科学館、海水浴場、キャンプ場などを再生するほか、津波伝承 館などの整備を検討する。 整備方針 津波被害を受けた低地部の居住地は、国道45号西側の高台に移転することを検討する。併せて、船越地区と田の浜地区を結ぶ高台 道路の沿道に移転することを検討する。 建築規制 従前集落は、災害危険区域に指定して、住居のように供する建築物に対して建築制限を行っている。 移転促進区域名 移転促進区域(㎡) 移転対象戸数(戸) 空き区画数 上段:整備面槓(m) 下段:戸数(戸) 居住人口 用地·整備等費用 災害危険区域 住宅用地(㎡) 団地移転戸数(戸) 活用割合 合計 自己再建 公営住宅 (千円) 229,040 3,141,037 船越・田の浜 432 140,082 10,909 38,257 210 177,275 98.1 210 144 66 989 小谷鳥 16,622 10,770 7,820 93,369 19 100 16,622 245,662 150,852 39,246 18,729 465 3,234,406 193,897 213 198 213 147 経緯 ・復興整備計画の策定:平成24年3月29日 復興交付金事業計画の策定:平成24年1月31日 ・事業計画の同意(当初):平成24年10月24日 事業計画の同意(変更①): 平成27年6月11日 ・事業計画の同意(変更②):令和2年6月5日 ①住民説明会 •住民懇談会:平成23年5月27日~31日 •山田町復興計画行政素案に関する住民説明会:平 成23年10月8日~12日 ②アンケート・意向調査等 合意形成 ・山田町の復興に関するアンケート: 平成23年5月27 日~6月10日 ・山田町の復興計画行政素案に関するアンケート: 平 成23年10月15日~25日 •意見募集:平成23年7月11日~8月31日 ・意向調査:平成24年2月8日~2月29日



地区·団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度
地域: 山田町	地形的に津波の危険性	面積(ha)	5.83	浸水区域	 住宅団地:64,957㎡	平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度
地区: 船越・田の浜	がなく、土砂崩れ等の災 害危険性も低い地域で	整備戸数(戸)		浸水区域外	区画道路:12,645㎡	造成工事
	ある。また、今回の震災	(うち、公営住宅)		事業の概ねの位置	公園: 5,603㎡	●H28.8 田地取得 宅地引渡し
	による津波の浸水区域 外に住宅団地を配置し	居住人口(人)		Tail	緑地∶24,207㎡	用地取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	<i>t</i> =。	整備費用(千円)	931,604	1	宅地:15,893㎡	事業計画: H24.10.24
	既存集落と一体的に整備してコミュニティ間の	用地取得費	173,701		宅地(災害公営戸建住宅):3,010㎡	用地取得:H25.7~H28.2
	連続性を確保することと	住宅敷地造成費	206,440		宅地(災害公営集合住宅):3,599㎡	造成工事:H25.12~H28.3
	した。	関連公共施設造成費	551,463			
地域: 山田町	地形的に津波の危険性	面積(ha)	0.75	浸水区域	住宅団地: 7,450㎡	
地区: 船越・田の浜	がなく、土砂崩れ等の災 害危険性も低い地域で	整備戸数(戸)	15	浸水区域外	区画道路:1,265㎡	造校工事
団地: 船越・田の浜第2団均	世ある。また、今回の震災	(うち、公営住宅)	0	事業の概ねの位置	公園: 259㎡	H28.8   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日
	による津波の浸水区域 外に住宅団地を配置し	居住人口(人)	43	船越半島側に整備した高台道路に	緑地:1,862㎡	
	た。	整備費用(千円)	245,356	沿っている	宅地:4,064㎡	事業計画: H24.10.24
	高台道路沿いに配置することにより、コミュニ	用地取得費	135,105			用地取得: H25.11~H26.12
	ティ間の連続性を確保	住宅敷地造成費	60,142			造成工事: H27.9~H28.8
	することとした。	関連公共施設造成費	50,109			
地域: 山田町	地形的に津波の危険性 がなく、土砂崩れ等の災	面積(ha)	0.83	浸水区域	住宅団地:8,338㎡	
地区: 船越・田の浜	害危険性も低い地域で	整備戸数(戸)	13	浸水区域外	区画道路:1,301㎡	造成工事
団地: 船越・田の浜第5団地	世ある。また、今回の震災 による津波の浸水区域	(うち、公営住宅)	0	事業の概ねの位置	公園:329㎡	●H28.8         ・
	外に住宅団地を配置し	居住人口(人)	46	船越半島側に整備した高台道路に	緑地∶2,935㎡	[7] 1 - C25 11.2C
	た。	整備費用(千円)	146,287	沿っている	宅地:3,355㎡	事業計画: H24.10.24
	高台道路沿いに配置することにより、コミュニ	用地取得費	13,528		集会施設:418m <sup>2</sup>	用地取得: H26.12~H27.1
	ティ間の連続性を確保	住宅敷地造成費	53,419			造成工事: H27.3~H28.8
	することとした。	関連公共施設造成費	79,340			<u> </u>
地域: 山田町	地形的に津波の危険性がなく、土砂崩れ等の災	面積(ha)		浸水区域	住宅団地:8,092㎡	造成工事
地区: 船越・田の浜	害危険性も低い地域で	整備戸数(戸)		浸水区域外	区画道路: 1,401㎡	□ H28.8
団地: 船越・田の浜第6団地	世ある。また、今回の震災 による津波の浸水区域	(うち、公営住宅)		事業の概ねの位置	公園: 218㎡	
	外に住宅団地を配置し	居住人口(人)		船越半島側に整備した高台道路に	緑地: 2,285㎡	
	た。 高台道路沿いに配置す	整備費用(千円)		沿っている	宅地:4,188㎡	事業計画: H24.10.24
	ることにより、コミュニ	用地取得費	8,889			用地取得: H26.12~H27.1
	ティ間の連続性を確保 することとした。	住宅敷地造成費	313,517			造成工事: H27.3~H28.8
1d. 14	地形的に津波の危険性	関連公共施設造成費	292,256			<del>                                     </del>
地域: 山田町	がなく、土砂崩れ等の災	面積(ha)		浸水区域	住宅団地:9,307㎡	造成工事
地区:船越・田の浜	害危険性も低い地域で	整備戸数(戸)		浸水区域外	区画道路: 1,848㎡	
団地: 船越・田の浜第7団均	世ある。また、今回の震災 による津波の浸水区域	(うち、公営住宅)		事業の概ねの位置	公園:430㎡	
	外に住宅団地を配置した。	居住人口(人)		船越半島側に整備した高台道路に	緑地:4,448㎡ 字地:0.501㎡	
	た。 高台道路沿いに配置す	整備費用(千円)		沿っている	宅地:2,581㎡	事業計画: H24.10.24
	ることにより、コミュニ	用地取得費	20,592			用地取得: H26.12~H27.1
	ティ間の連続性を確保 することとした。	住宅敷地造成費	92,917			造成工事: H26.10~H28.5(起工承諾による着工を含む)
	. =====	関連公共施設造成費	242,138			

	地区·団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	亚成22年度	工程 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度						
地域:		地形的に津波の危険性	面積(ha)	3.76	浸水区域	↓  住宅団地:41,938㎡	一一八八八十八	一次24千茂	一次25千段			十八八二十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	十八乙3千尺	
地区:		がなく、土砂崩れ等の災 害危険性も低い地域で	整備戸数(戸)		浸水区域外	区画道路: 5,130㎡				IĒ.	成工事			
団地:	船越・田の浜第8団地	ある。また、今回の震災	(うち、公営住宅)	29	事業の概ねの位置	公園:2,705㎡			用地	也取得		●H28		
		による津波の浸水区域 外に住宅団地を配置し	居住人口(人)	69	船越半島側に整備した高台道路に	緑地:20,801㎡					 	宅地引	<b>渡</b> し	
		た。	整備費用(千円)	830,026	沿っている	宅地:8,176㎡	事業計画:	H24.10.24		•			,	
		高台道路沿いに配置す ることにより、コミュニ	用地取得費	62,560		宅地(災害公営戸建住宅):2,053㎡	用地取得:	H25.1~H2	7.6					
		ティ間の連続性を確保	住宅敷地造成費	170,507		宅地(災害公営集合住宅):2,247㎡	造成工事:	H26.5~H2	8.8(起工承	諾による着コ	[を含む]			
		することとした。	関連公共施設造成費	596,959		公益的施設:826㎡								
地域:		地域的に津波の危険性	面積(ha)	0.3	浸水区域	住宅団地: 2,950㎡								
地区:	小谷鳥	がなく、土砂崩れ等の災 害危険性も低い地域で	整備戸数(戸)	3	浸水区域外	区画道路: 546 m <sup>2</sup>		ì	成工事	·		<u> </u>		
団地:		ある。また、今回の震災	(うち、公営住宅)	0	事業の概ねの位置	緑地:1,086㎡		用地取得		●H2	6.9 宅地引	渡し 		
		による津波の浸水区域 外に住宅団地は位置す	居住人口(人)	8	船越半島の中央(南側)に位置する	宅地:989㎡		<b>□ □ □ □ □ □</b>	1					
		る。	整備費用(千円)	83,703		公益的施設:329m <sup>2</sup>	事業計画:	H25.3.8						
			用地取得費	6,700			用地取得:	H25.3						
			住宅敷地造成費	29,056			造成工事:	H25.12∼H	26.9					
			関連公共施設造成費	47,947										
地域:			面積(ha)											
地区:			整備戸数(戸)											
団地:			(うち、公営住宅)											
			居住人口(人)											
			整備費用(千円)				事業計画:							
			用地取得費				用地取得・	調査設計:						
			住宅敷地造成費				造成工事:							
			関連公共施設造成費								1	1	T	
地域:			面積(ha)											
地区:			整備戸数(戸)											
団地:			(うち、公営住宅)											
			居住人口(人)											
			整備費用(千円)		-		事業計画:	=m <del>-1-</del> =n = !						
			用地取得費				用地取得・	調宜設計:						
			住宅敷地造成費				造成工事:							
11h 1-#			関連公共施設造成費					1	1	1	I	I	<u> </u>	
地域: 地区:			面積(ha) 敷供豆粉(豆)											
団地:			整備戸数(戸)											
四地:			(うち、公営住宅) 居住人口(人)				1							
			整備費用(千円)		1		事業計画:	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	
			用地取得費		1		用地取得・	調本設計・						
			住宅敷地造成費				造成工事:	ᄪᆁᆂᇠᄗ						
			世七敖地追戍員 関連公共施設造成費				世次工事.							

<u>1 カルテ</u>R6.4時点

1 カルテ 市町村名	<b>士</b> 槌町	地域名	沿岸集落部								
											船越·田の浜
被害の状況 	集落の大半が	が浸水し、壊》	威的な被害を う	受けた。							粉越·田d
+			まぼ全域が壊滅的 移転を基本にまち		再び同程度の津流	皮を受ければ孤立	Σする恐れがあ	ることから、防潮均	是、水門を整備し	、低地部は水産	
整備方針	浪板地区は、社	皮災前の地区中	心部を残すため、 i街地を構築する。	国道45号の内側	に幹線道路を配	置し、その内側を	漁集事業によ	り地盤嵩上げ、高・	台には防集事業	による団地を造	J. S. Samerano S.
建築規制			定して、住居のよ	うに供する建築物	<b>勿に対して建築</b> 制	限を行っている。	)				
移転促進区域名	移転促進区域(㎡)					1) 下段:戸数	(戸)			用 災害危険区域	The state of the s
小枕·伸松	住宅用地(㎡) 26,538	93	0	合計 29,067	<u>目己冉建</u> 6,373	公営住宅 0		(人)			Diggston to the state of the st
浪板	20,903 25,296	22 47		7,011	22 3,630			32	327,70	7	浪板①団地─
	17,518	11	100	11	11						
											吉里吉里①団地 (四丁目) 一百里吉里③団地 (跨線機東)
											DEDECIDE (STANGE)
											大ヶ口・屋敷前団地 沢山・夏本団地
											寺野臼澤団地 安渡③団地(安渡小東) 吉里吉里②団地(ラフター北) 安渡①団地(二渡神社裏)
											赤浜①団地(北側斜面・バスセンター)
											花輪田団地 赤浜②団地(三日月神社裏)
											李浜地区新住宅団地 (東大海洋研裏)
											安渡④団地(古学校)
											安波②団地(大仏模裏)
											箱崎白浜地区新住宅団地
小計	51,834 38,421			36,078 33	10,003 33			85			
経緯			<u>'I                                    </u>	33	33	0	<u> </u>	1 0	<u>)                                    </u>	0]	根浜住宅団地
	・小枕・伸松は 高台に居住は	也をつくり、被	災前より続く⊐	ミュニティを							両石地区新住宅団地
			られる いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ								桑 海地区新住宅団地
	▶浪板地区										
	高台に、既存		したオーシャン								
	側に移動し、	安全かつコミ	することで、まっ ユニティを維持	できる集落							Change on the contract of the
	に再編するた  た。	ニめ、防災集団	団移転促進事:	業を選択し							J. Kari
											Contract to the second
	  ・まちづくり数	談会やワーク	クショップを複数	数回開催し							
	住民との合意	気形成を図った									R (M)
	の計画・設計	の調整を行う	うとともに、まち	なみの誘導							事業区域_区画整理事業区域_津波拠点
合意形成	設置した。そ	の成果は「大		-ト」として取							事業区域_防集(住宅団地) 浸水区域_被災実績
	り纏められ、	個々の設計の	)内容と質に反	いいさせた。							<b>(H30 時点)</b> 高速道路 (H30 時点)
											MINISTER CONTROL CONTR

地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度				
地域: 大槌町	小枕地区は、津波によ	面積(ha)	2.91			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
地区: 小枕•伸松	り集落ほぼ全域が壊滅 的な被害を受け、再び	整備戸数(戸)	22	浪板		→H28.11				
団地: 小枕	同程度の津波を受けれ	(うち、公営住宅)	0	吉里吉里		宅地引渡し				
	ば孤立する恐れがある ことから、防潮堤、水門	居住人口(人)	53							
	を整備し、低地部は水	整備費用(千円)	892,382	安渡		事業計画:平成24年9月 大臣同意				
	産加工場等の事業用地 とし、高台移転を基本に	用地取得費	28,113	小鎚川 小枕・伸松 赤浜		用地取得:平成27年2月~平成27年6月				
	まちづくりを計画。 また、団地入居者同士 の交流促進及び利便性	住宅敷地造成費	189,493			造成工事: 平成26年10月~平成28年10月				
	向上を目的として、入居者の合意の元、隣接する敷地の境界部分にコモンスペースを設けた。	関連公共施設造成費	674,776							
地域: 大槌町	浪板地区は、まちの中 心を山側に移動し、安全	面積(ha)	0.70							
地区: 浪板	かつコミュニティを維持	整備戸数(戸)	11	息板		●H27.6 宅地引渡U				
団地: 浪板①	できる集落に再編するため、国道45号の内側に	(うち、公営住宅)	0	吉里吉里						
	幹線道路を配置し、その	居住人口(人)	32	大槌川						
	内側を漁集事業により 地盤嵩上げした。高台に	整備費用(千円)	327,707	安渡町方		事業計画: 平成24年9月 大臣同意				
	は防集事業による団地を造成し、既存集落と一体となった市街地を構	用地取得費 住宅敷地造成費	52,021 142,739	小鎚川 小枕·伸松 赤浜		用地取得:平成25年10月~平成26年8月 造成工事:平成26年6月~平成27年6月				
	築。	関連公共施設造成費	132,947							
地域:		面積(ha)								
地区:		整備戸数(戸)								
団地:		(うち、公営住宅)								
		居住人口(人)								
		整備費用(千円)				事業計画:				
		用地取得費				用地取得•調査設計:				
		住宅敷地造成費				造成工事:				
		関連公共施設造成費								
地域:		面積(ha)								
地区:		整備戸数(戸)								
団地:		(うち、公営住宅) 居住人口(人)								
		整備費用(千円)								
		用地取得費				用地取得•調査設計:				
		住宅敷地造成費				造成工事:				
		関連公共施設造成費				A=1/N = 7 ·				
		面積(ha)								
地区:		整備戸数(戸)								
団地:		(うち、公営住宅)								
		居住人口(人)								
		整備費用(千円)				事業計画:				
		用地取得費				用地取得•調査設計:				
		住宅敷地造成費				造成工事:				
		関連公共施設造成費								

1 カルテ R6.4時点

市町村名	釜石市	地域名	唐丹								TO: 447 M
				<u> </u>	# <b>#</b> ##################################						
	海岸に近い住	宅や漁業施	設などが津波	により大きな社	仮害を受けた	0					The Contract of the Contract o
被害の状況											<b>1</b>
次日 の											Chicago Contraction of the Contr
											76-
±6 /# -L A1	防災集団移転	促進事業に	より、シミュレ・	ーション上浸フ	kしない区域)	スは浸水高以上	こに嵩上げした	宅地への移	転を進める。	その他、災 丨	
整備方針	害公営住宅整	体重学 治	<b>学</b>	おさい主業等	ニートリ生技術	国間を図る	1-1		122200		
		三州 于木、湍	未未份则火液	化送心学术式	このり未合せ	2 <del>94</del> C (20 0 0 0					
7+ 休 +日 + 1	<u> </u>										
建築規制	<b>従前</b> 集   技   1	<b>災宝合除区</b>	域に指定して	住民の田には	出する建築物	に対して建築制	限を行ってい	ろ			
	に削木冶は、	火日心灰色			八,心生未物	に対して注末市		<b>o</b> 0			
<b>我</b> 転促准区域名	移転促進区域(m³)	攻転対象百数(百)	できて両数	上的	·· 敕借而精(n	n) 下段:戸数(	<u> </u>	早住 J 口 Ti	用地·整備等費用	巛宝告除区域	The state of the s
1944 (C.E.E%-1	少私促進色域(iii)。	19+4ハ3 <b>ハ</b> 7 数(7 /	エロ中の				., ,		/1元 正備守負/11	火占心灰色线	
	住宅用地(m³)	団地移転尸致(尸)	活用剖台	合計		公営住宅		(人)	(千円)		
尾崎白浜	2,432	17		1,772	1,052	720		200	204,651		\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \
	2,432	8	87.5	8	4	4					
花露辺	7,133	29		1,908	800	1,108		162	75,415		\ \
16.66.22	7,133				000	1,100		102	70,410		
I /nn		13			4	9					the second secon
本郷	10,907	37		4,690	2,908	1,782		303	392,679		The second secon
	10,907	20	95.0	20	10	10					
唐丹片岸	23,728	58									
70737171	23,728	11									
小台湾					F 000	<del>                                     </del>	<del></del>	404	070 044		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
小白浜	9,367	40		5,238	5,238	U		404	870,044		
	9,367	6	83.3	18	18	0					尾崎白浜地区新住宅団地
大石	531	12									V 7 halin 1
	531	1									尾峰白浜地区新住宅団地
荒川	7,575	15	0	1,590	330	1,260		18	165,485		
元川		10			330	1,200		18	100,480		N N N N N N N N N N N N N N N N N N N
	7,575	8	100	8	1	1					Separate Sep
											Z Pro Proces
											小白浜地区新住宅団地
											小白浜地区新住宅団地
											小白浜地区新住宅間地
											TOWNS COLUMN TO
											本郷地区新住宅団地
											小白浜地区新住宅団地
											/ 小白浜地区新住宅団地
											A Company of the Comp
						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· ·			
小計	61,673	208		15,198	10,328	4,870		1,087	1,708,274		( ) S\$ 0
\1,!!								1,007	1,700,274	U U	
	61,673	67		67	37	30		01	01		
経緯											
	•尾崎白浜地	区 龙霞切州	区 太郷地区	<b>申</b> 日片岸							
	地区、小白浜										at and at
	唐丹地域は	、東北地万ス	マ洋沖地震に	こより、大津							
	波により甚大	な被害を受け	ナた。これを受	けて、釜石市							
	は、L1対応の										
	が、L1対応防										
	シミュレーショ										
	水する結果と	なった。この	浸水する区域	は住居系土						l	
	地利用は不適										and the second
	団移転促進事										
	津波でも浸水	しはい場所ま	に惨黙りるこ	.ととした。							
											/_#D %
-	<del> </del>										The state of the s
											凡 例
											事業保健 反面数理
											事業区域_区画整理 事業区域_津波拠点
											事業区域。防集(住宅団地)
											浸水区域_被災実績
	意向調査アン	ケート また・	づくり協議会	<b></b>							19 P
合意形成		, 1,00	- 、 / IJJJ (								<b>建工工</b> 鉄道 (H30 時点)
	会										—— 高速道路 (H30 時点)
										l	
										l	
1	1										

地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度				
地域: 釜石市	尾崎白浜地区の沿岸部	面積(ha)	0.18							
地区: 尾崎白浜	は、津波により多くの住 宅が壊滅的な被害を受	整備戸数(戸)	8	Z Mr. scan traditions	TAL DELIVE TREADING C. D.					
団地: 尾崎白浜(新)	けた。そのため、住宅地	(うち、公営住宅)	4	10		●H27.09 宅地 引渡し				
	については、安全性を確保するため、既存集落に	居住人口(人)	200							
	近くコミュニティの継続が	整備費用(千円)	204,651			事業計画: H24年度~R2年度				
	確保できることや造成コスト等を考慮して宅地整	用地取得費	41,527		The state of the s	用地取得·調査設計: H25年~H27年				
	備する位置を決定した。	住宅敷地造成費	122,982			造成工事: H25年12月~H30年2月				
		関連公共施設造成費	40,142	401004400	2// 2/1					
地域: 釜石市	花露辺地区の沿岸部 は、津波により多くの住	面積(ha)	0.19							
地区: 花露辺	宅が壊滅的な被害を受	整備戸数(戸)	13	花篇如地区防災集团移転促進事業 土地利用計画図 在用限で在で [4980年(1980年X1)	花露辺地区新住宅団地 土地利用計画図					
団地: 花露辺(新)	けた。そのため、住宅団	(うち、公営住宅)	9	高高級宣布を 4-11,600mil		H26.3 宅地引渡し				
	地の位置は、3.11の津 波浸水区域外で、県道	居住人口(人)	162							
	へのアクセスが良好な	整備費用(千円)	75,415			事業計画: H24年~R2年				
	高台とし、既に当該地が宅地利用がなされてい	用地取得費	5,649			用地取得·調査設計: H24年~H26年 造成工事: H25年5月~H25年12月				
	ることから造成費用も整	住宅敷地造成費	55,225							
	地程度に抑えられる。	関連公共施設造成費	14,541	The contract the c						
地域: 釜石市	本郷地区の沿岸部は、津波により多くの住宅が	面積(ha)	0.47		3 ~ 000					
地区: 本郷	壊滅的な被害を受けた。	整備戸数(戸)	20	Apres restal Jaco	本起版(2)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)					
団地: 本郷(新)	そのため、住宅団地の 位置は,既存集落に近く	(うち、公営住宅)	10	99 14		●H27.09 宅地引渡し				
	コミュニティの継続が確	居住人口(人)	303							
	保できることや造成コスト等を考慮して整備位置	整備費用(千円)	392,679			事業計画: H24年~R2年				
	を決定した。	用地取得費	143,624		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	用地取得·調査設計: H25年~H27年				
		住宅敷地造成費	122,808	For any and a second se	## Manage   1 Manage	造成工事: H25年12月~H27年9月				
		関連公共施設造成費	126,247							
地域: 釜石市	小白浜地区の沿岸部 は、津波により多くの住	面積(ha)	0.52	(0.40名至15至一批打炸用用 、 。。	OFFOREDRECCENT THIRTH					
地区: 小白浜	宅が壊滅的な被害を受	整備戸数(戸)	18	+	<del> </del>	→H28.7				
団地: 小白浜(新)	けた。そのため、既存集 落に近く、コミュニティの	(うち、公営住宅)	0			宅地引渡し				
	継続が確保できることや	居住人口(人)	404		The NEW YORK					
	造成コスト等を考慮して 整備位置を決定した。	整備費用(千円)	870,044			事業計画: H24年~R2年				
		用地取得費	135,852	9		用地取得·調査設計: H25年~H31年				
		住宅敷地造成費	610,473			造成工事: H25年12月~H28年7月				
地域。	荒川地区の沿岸部は、	関連公共施設造成費	123,719			<del>                                     </del>				
地域:釜石市	津波により住宅が壊滅	面積(ha)整備戸数(戸)	0.16	東北京中が原理学院といって	NIMEROF CLANDED NO. 1					
地区: 荒川	的な被害を受けた。その ため、既存集落に近く、		8		The Carlo	●H27.09 宅地引渡し				
団地: 荒川(新)	コミュニティの継続が確	(うち、公営住宅) 居住人口(人)	/ 18							
	保できることや造成コスト等を考慮して整備位置	整備費用(千円)								
	を決定した。	用地取得費		165,485 19,112 92,410 53,963		事業計画: H24年~R2年 用地取得·調査設計: H26年~H28年				
		住宅敷地造成費			52 (MA) - 40 (MA) - 40 (MA) - 40 (MA)	用地取得·調査設計: H26年~H28年 造成工事: H25年12月~H27年9月				
		関連公共施設造成費	53,963							
			55,963		<u> </u>					

<u>1 カルテ R6.4時点</u>

1 カルテ	T-S	1	T	1						
			<u>│箱崎</u> 設などが津波	I により大きな衫	要害を受けた.	)				船越・田の
整備方針				ーション上浸水 能強化事業等			上に嵩上げした宅地への	移転を進める。·	その他、災	The standing
建築規制	従前集落は、	災害危険区均	域に指定して、	住居の用に供	せする建築物	に対して建築制	訓限を行っている。			The state of the s
区域名			空き区画数		:整備面積(n	1)下段:戸数			災害危険区域	No. of the contract of the con
室浜	住宅用地(㎡) 7,504			合計 2,785	<u>自己再建</u> 2,245	公営住宅 540	(人			MARKATANA MARKAT
王供	7,504			10	7	340	3	301,003		浪板?団地
根浜	20,382			9,149	7,529	1,620	8	5 1,332,692		(四丁目) を
箱崎	20,382 30,819			34 7,968	25 5,943	2,025	10	4 790,366		在内団地 在内団地 吉里吉里?団地 (防線橋東)
	30,819	29	93.1	29	18	11				大クロ・屋敷前団地(四丁目)
箱崎白浜	8,628			2,318	2,318	0	20	3 335,321		沢山・夏本団地
桑ノ浜	8,628 8,936		100	2,799	2,259	540	5	2 760,933		大ケロ・屋敷前団地 沢山・夏本団地
	8,936			10	7	3	3	700,300		大クロ・屋敷前団地 沢山・夏本団地 西里吉里?団地 (四丁目)
両石	25,733			8,629	6,067	2,562	24	8 2,322,753		寺野臼澤団地 (テフター北) 安渡?団地 (安渡小東) 吉里吉里?団地 (ラフター北)
	25,733	37	86.5	37	23	14		+		安渡?団地(二渡神社裏)
										赤浜?団地 (北側斜面・バスセンター) 赤浜?団地 (北側斜面・バスセンター) 赤浜?団地 (三日月神社裏)
										The same of the sa
								+		小枕団地 赤浜?団地 (東大海洋研裏)
										赤浜?団地(東大海洋研裏) 赤浜?団地(三日月神社裏)
										安渡?団地(古学校)   デーデー
								+		安渡?団地(古学校)
										安渡?団地(大仏様裏)
										箱崎住宅団地 箱崎白浜地区新住宅団地
								+		箱崎白浜地区新住宅団地
										箱崎住宅団地 箱崎自浜地区新住宅団地
										TO AN AT HE COMMAND
小計	102,002 102,002			33,648 127	26,361 87	7,287 40	72	8 5,903,728 n n	0	根浜住宅団地 箱崎住宅団地
経緯	・室浜地区、 桑ノ浜地区、 箱崎地域は 波により甚大 は、L1対応の	根浜地区、箱 両石地区 は、東北地方人 な被害を受け の防潮堤を整り	崎地区、箱崎 に平洋沖地震に けた。これを受 備及び維持す	白浜地区、 により、大津 けて、釜石市 る方針とした						両石地区新住宅(P)地 基 /近地区新住宅(P)地
	波により甚大な被害を受けた。これを受けて、釜石市は、L1対応の防潮堤を整備及び維持する方針としたが、L1対応防潮堤整備後に対するL2津波襲来時のシミュレーション結果においても、防潮堤背後地が浸水する結果となった。この浸水する区域は住居系土地利用は不適当と判断することとなるため、防災集団移転促進事業を実施し、浸水区域内の住居をL2津波でも浸水しない場所まで移転することとした。									
合意形成	意向調査アン会	√ケート、まち <sup>∙</sup>	づくり協議会、	地権者連絡						

	地区·団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度			
地域:	釜石市	室浜地区は、津波により	面積(ha)	0.28						
地区:	室浜	ほぼ全域が壊滅的な被害を受けた。また、地区	整備戸数(戸)	10	2005220943188	TARGER CATALINE BY L. CO.				
団地:	室浜(新)	住民の多くが漁業者と	(うち、公営住宅)	3			H27.10 宅地引渡し			
		なっている。そのため、 住宅地については、L2	居住人口(人)	36						
		津波の浸水想定区域外	整備費用(千円)	361,663			事業計画: H24年度~R2年度			
		で、漁港に近く漁業継続に有利な位置へ整備す	用地取得費	38,075			用地取得·調査設計: H25年~R1年			
		ることとした。	住宅敷地造成費	217,091			造成工事: H26年6月~H27年10月			
			関連公共施設造成費	106,497		STATE OF THE PROPERTY OF THE P				
地域:	釜石市	根浜地区は、津波により	面積(ha)	0.91						
地区:	根浜	ほぼ全域が壊滅的な被害を受けた。そのため、	整備戸数(戸)	34	RANZANHA-FRH 1100	ENTALCEDIANTIES www.				
団地:	根浜	住宅地については、利	(うち、公営住宅)	9			●H28.8			
		便性と安全性を確保するため、沿岸部に近接	居住人口(人)	85						
		し、かつ津波浸水の恐	整備費用(千円)	1,332,692		-	事業計画: H24年度~R2年度			
		れが無い集落間道路の 山側に住宅団地を配置	用地取得費	136,700	700	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	用地取得·調査設計: H25年~H26年			
		することとした。	住宅敷地造成費	951,851	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	**************************************	造成工事: H26年6月~H28年7月			
			関連公共施設造成費	244,141		1886 A STATE OF THE PROPERTY O				
地域:	釜石市	箱崎地区は、津波により 多くの住宅が壊滅的な	面積(ha)	0.8						
	箱崎	被害を受けた。そのた	整備戸数(戸)	29	FAMIL COMPANY SOME	R HALLY CECTOR PRINTS / 3				
団地:	箱崎	め、住宅地については、 利便性と安全性を確保	(うち、公営住宅)	11	The state of the s	7070	●H28.3 宅地引渡L			
		するため、津波浸水の	居住人口(人)	104						
		恐れが無い集落間道路の山側に住宅団地を配	整備費用(千円)	790,366	022		事業計画: H24年度~R2年度			
		置することとした。	用地取得費	110,022			用地取得·調査設計: H25年~R2年			
			住宅敷地造成費	478,065		### 1	造成工事: H25年12月~H28年3月			
		体体力でいたるのとか	関連公共施設造成費	202,279						
	釜石市	箱崎白浜地区の沿岸部 は、津波により多くの住	面積(ha)	0.23	FIGURE GREEN NO.	Windowscome and the control of the c				
	箱崎白浜	宅が壊滅的な被害を受	整備戸数(戸)	7	±	÷ // \$= 1	●H28.3			
団地:	箱崎白浜(新)	けた。そのため、住宅地については、利便性と安	(うち、公営住宅)	0						
		全性を確保するため、山	居住人口(人)	203						
		間部の接続道路の沿線 やその他の未利用地を	整備費用(千円)	335,321			事業計画: H24年度~R2年度   用地取得・調査設計: H25年~H31年			
		利用して、切盛土量が小		19,496		## 10 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15				
		さくなる土地に住宅団地 を分散して配置した。	住宅敷地造成費	222,866			造成工事: H25年12月~H30年7月			
+µh += <del>1</del> :	<u> </u>	桑ノ浜地区の防潮堤背	関連公共施設造成費	92,959			<del>                                     </del>			
	釜石市 桑ノ浜	後部は、津波により多く	面積(ha) 整備戸数(戸)	0.28 10	多/正数图-改选图形序 m. w. co.	A / AND SIL CHILD AND THE LOW O.				
	桑ノ浜(新)	の住宅が壊滅的な被害 を受けた。そのため、住	・	10			●H28.8			
131PE;	术/ /六 (初 /	宅地については、安全	居住人口(人)	52		The state of the s	宅地引渡し			
		性を確保するため、嵩上げを実施して、整備する	整備費用(千円)	760,933	Wanna Market and Market					
		ことが、安全性、経済性	用地取得費							
		の面から最も適している と判断した	住宅敷地造成費	525,829	39,459	or and the state of the state o	造成工事: H26年6月~H28年8月			
		C 13MIO/C	関連公共施設造成費	195,645			7			
			肉圧ム六肥似但以貝	190,040		L				

地区•団地名	沿革・特色・工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度						
	両石地区の防潮堤背後	面積(ha)	0.86			十成23年度 十成24年度 十成23年度 十成20年度 十成27年度 十成20年度 十成29年度						
地区: 両石	部は、津波により多くの 住宅が壊滅的な被害を	整備戸数(戸)	37	TC 6X 1-BERTHALL	DEMONSTRUCTURENTS	H30.3						
  団地: 両石(新)	受けた。そのため、住宅	(うち、公営住宅)	14			宅地引渡し						
	地については、安全性を確保するため、岩上げを		248									
	確保するため、嵩上げを 実施して、整備すること	整備費用(千円)	2,322,753			事業計画: H24年度~R2年度						
	が、安全性、経済性の面 から最も適していると判	用地取得費	198,181		## 15 mm 15	用地取得·調査設計: H25年~R2年						
	断した。	住宅敷地造成費	1,880,286			造成工事: H25年12月~H30年3月						
		関連公共施設造成費	244,286		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
地域:		面積(ha)										
地区:		整備戸数(戸)										
団地:		(うち、公営住宅)										
		居住人口(人)										
		整備費用(千円)				事業計画:						
		用地取得費				用地取得•調査設計:						
		住宅敷地造成費				造成工事:						
		関連公共施設造成費										
地域:		面積(ha)										
地区:		整備戸数(戸)										
団地:		(うち、公営住宅)										
		居住人口(人)				<u> </u>						
		整備費用(千円)				事業計画: 用地取得·調査設計:						
		用地取得費 住宅敷地造成費				造成工事:						
		世七敖地追戍員 関連公共施設造成費				追 <u>以工争。</u>						
		面積(ha)										
地区:		整備戸数(戸)										
団地:		(うち、公営住宅)										
		居住人口(人)										
		整備費用(千円)				事業計画:						
		用地取得費				用地取得•調査設計:						
		住宅敷地造成費				造成工事:						
		関連公共施設造成費										
地域:		面積(ha)										
地区:		整備戸数(戸)										
団地:		(うち、公営住宅)										
		居住人口(人)										
		整備費用(千円)				事業計画:						
		用地取得費				用地取得•調査設計:						
		住宅敷地造成費				造成工事:						
		関連公共施設造成費										

地域別カル		L+ 17	— n± 112 1—						I	서 전 1.0.1
市町村名	大船渡市 均	也域名	三陸地域							
被害の状況	地震・津波による	る三陸地域の	)被害は、死者数	93人、行方不明	月者は27人、住	ミ家の被害は93	30世帯、そのう	うち全壊が540世帯	でした。	
整備方針	災害危険区域 <i>の</i>	うち、住民の	)居住に適当でな	いと認められる	区域内にある	住居の集団的	移転を促進す	<del>-</del> る。		
建築規制	災害危険区域に	よる住居建築の	の禁止(第1種区均	或)、制限(第2種	区域A、B、C)		;険区域 2種A、B、C	指定状 綾里·越喜来湾	況 144ha	
<b>珍</b>	移転促進区域(m) 移	(配分多百数/百)	空き区画数	上民	B·整備而積(n	1)下段:戸数		居住人口用		
沙拟促進区场石	住宅用地(㎡) 団			合計	自己再建	公営住宅	i ,	(人)	(千円)	
田浜	8,013	22	<del> </del>	7,417	3,936	0		30	217,440	
	4,679	12	100	12	12	0				
港∙岩崎	19,448	46		15,438	7,334	0		62	350,222	- I minimize
·*	12,199	23		23	23	0			477.450	/ /
泊	16,300 13,447	20 13		8,510 13	4,304 13	0		32	177,453	
浦浜南	14,801	25		7,678	3,649	0		30	188,990	
/m/x(H)	12,581	11		11	11	0			100,000	浦浜仲·西地区
浦浜仲・西	20,842	29	0	7,270	3,306	0		25	157,647	
2 12 and -1-	14,028	10		10	10	0		1		浦浜南地区
浦浜東•甫嶺		34		5,499	2,970	0		20	139,571	
<u></u> 崎浜	16,911 20,985	<u>9</u> 47	100	12,164	6,922	0		60	557,895	☆
<b>押</b> 月/共	10,643	21		21	21	0		- 00	337,033	泊地区
										S Say
								<del>                                     </del>		
										地区
										地区
										■ 野地区
										地区
	I I		l		l			1		₩Z
小計	126,889	223	3	63,976	32,421	0		259	1,789,218	中赤崎地区
	84,488	99	)	99	99	0		0	0	
										港·岩崎地区
										水洪地区
	コミュニティのカ									
	コミュニティにまた	た加わりたい	、その中で再建	したいという						
経緯	再建となった。ま	め、それそれ きた 平地の小	のコミユーティ早 いない地形である	がない はも						清水地区
11214	を探すと、どうして	ても分散して	しまうので、学識	経験者の助						Tanky James
	言等を受けなが			も団地用地を						蛸ノ浦地区
	設定する差込型	を取り入れた	<b>:</b> •							THE PARTY OF THE P
										Star Start of the
										School Sc
										X Vand
										又 凡 例
		<b>=.</b> :								事業区域_区画整理
	スピード感を重ね	児した。事業詞	認可のスピードで 'ヾ咸 * 辛 ※! ・	ではなく、住民						事業区域_津波拠点
合意形成	へのアプローチ! 域住民へ説明の	に つい し人に )機会を持っナ	一ト心を息譲した時期も早く 生	に進めバこ。地   活再建に向						事業区域_防集(住宅団地) 浸水区域_被災実績
H 12/17/20	けての仕組みや	概要を説明し	し、地域で考えて	もらうことで						(H30 時点)
	住民主導の高台									
										泊里地区

# 地区(団地)別カルテ(案)

地区·団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度  平成24年度  平成25年度  平成26年度  平成27年度  平成28年度  平成29年度					
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、	面積(ha)	0.74		由派地区土地利用計画図						
地区: 田浜	移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	12	C DELANDA TO A DEL							
団地: 田浜	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			H26.5 <mark>宅地引渡し</mark>					
	にある高台を防集団地と	居住人口(人)	30								
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	217,440		FIG. 1 A STATE OF THE STATE OF	事業計画: H25~R2					
	した。	用地取得費	18,634		## ## 50 A 4 Marks ### ### ### #########################	用地取得·調査設計: H24~H25					
		住宅敷地造成費	198,806	The state of the s	## 1 100 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	造成工事:H25~R2					
		関連公共施設造成費	0		Table   Tabl						
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	1.54		上班村所用区 唐 - 亚峰和区 / ] ] [] []						
地区: 港•岩崎	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	23	- marin de examinad							
団地: 港・岩崎	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			●H26.6 <mark>宅地引渡U</mark>					
	にある高台を防集団地と	居住人口(人)	62								
	し、防集事業の造成地が既存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	350,222			事業計画: H25~R2					
	した。	用地取得費	37,988			用地取得·調査設計: H24~H25					
		住宅敷地造成費	312,234	The state of the s		造成工事: H25~H26					
		関連公共施設造成費	0								
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.85		AND CONTRACTOR OF THE CONTRACT						
地区: 泊	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	13	C CONTRACTOR OF							
団地: 泊	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			H26.1 宅地引渡し					
	にある高台を防集団地と し、防集事業の造成が既存	居住人口(人)	32								
	集落に溶け込むように配慮	整備費用(千円)	177,453			事業計画: H25~R2					
	した。	用地取得費	23,526			用地取得·調査設計: H24~H25					
		住宅敷地造成費	153,927	The state of the s		造成工事: H25~H26					
		関連公共施設造成費	0								
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.77	a trivelle life or extens and	ELEAN AND CHE						
地区: 浦浜南	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	11	0							
団地: 浦浜南	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			●H26.12 宅地引渡し					
	にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既	居住人口(人)	30								
	存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	188,990			事業計画: H25~R2					
	した。	用地取得費	29,999			用地取得・調査設計: H24~H26					
		住宅敷地造成費	158,991	The state of the s	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	造成工事: H25~H26					
	<b>古仏人佐に田北る場合</b>	関連公共施設造成費	0								
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.73	ENIAM INTERNATION DI	漢某件· 西地区土地利用計画図 [東東後] 場場部						
地区: 浦浜仲・西	ついて協力していただきな がら事業を進めた。従前の	整備戸数(戸)	10	0		●H26.12 宅地引渡し					
団地: 浦浜仲・西	集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0								
	にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既	居住人口(人)	25	and the second s							
	存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	157,647	Y何重写	### 1338### 15 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	事業計画: H25~R2					
	した。	用地取得費	44,279		######################################	用地取得・調査設計: H24~H25					
		住宅敷地造成費	113,368	The state of the s	9 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	造成工事: H25~H26					
		関連公共施設造成費	0		他1団地						

### 地区(団地)別カルテ(案)

地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度					
地域: 大船渡市 地区: 浦浜東·甫嶺 団地: 浦浜東·甫嶺	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめについただきながら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮 した。	面積(ha) 整備戸数(戸) (うち、公営住宅) 居住人口(人) 整備費用(千円) 用地取得費 住宅敷地造成費 関連公共施設造成費	0.55 9 0 20 139,571 30,493 109,078 0	TO THE PARTY OF TH	本本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語   本	事業計画: H25~R2 用地取得·調査設計: 造成工事: H26~H26	H24~H26	●H27.3 宅		1,70=0	
地域: 大船渡市 地区: 崎浜 団地: 崎浜	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめについて協力していただきながら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮 した。埋蔵文化財の発掘作 業を経て造成。	面積(ha) 整備戸数(戸) (うち、公営住宅) 居住人口(人) 整備費用(千円) 用地取得費 住宅敷地造成費 関連公共施設造成費	1.22 21 0 60 557,895 23,554 332,939 201,402	THE REPORT OF THE PARTY OF THE	開発 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	事業計画: H25~R2 用地取得·調査設計: 造成工事: H25~H27		●H27.6	宅地引渡し		

\_地域別カルテ

地域別グル		+ 1/ <del>*</del> 1/4 <del>1/4</del>	Ι				K0.4时从
市町村名	大船渡市 地域名	末崎地域					
被害の状況	地震・津波による末崎地域の	の被害は、死者数	坟42人、行方不明	月者は22人、住	家の被害は880世帯、その	5ち全壊が509世帯でした。	浦浜仲・西地
整備方針	災害危険区域のうち、住民	の居住に適当でな	ないと認められる	5区域内にある	住居の集団的移転を促進す	- శ్ర	浦浜南地 浦浜南地区 浦浜南地区 浦浜南地区
建築規制	災害危険区域による住居建築	英の禁止(第1種区	域)、制限(第2種	区域A、B、C)	災害危険区域 第1種、第2種A、B、C	指定状況 大船渡湾 502ha	4
地区名	移転促進区域(m) 移転対象戸数(F				f) 下段:戸数(戸)	居住人口 用地·整備等費用	
<b>本</b>	住宅用地(㎡) 団地移転戸数(戸		合計	自己再建	公営住宅	(人) (千円)	
峰岸	, and the same of	0 21 100.0	14,476 21	6,935 21	0	62 365,005	
神坂	13,102	0 0	6,935	2,964	0	30 229,803	
ém:±	4,916	9 100.0	9	9	0	20 040 000	
細浦	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3 100.0	9,035 13	4,290 13	0	36 242,030	
小細浦	6,103	1 0	5,141	2,500	0	15 148,917	
小河原	3,888 51,159 15	8 100.0	21,739	13,608	0	110 706,656	佐野地区
小川原	51,159 15 30,812 4		21,739	13,008	0	110 /00,000	下舘下地区
梅神	9,202 1	7 0	7,081	4,340	0	57 189,465	
門之浜		3 100.0 8 0	13 9,834	13 4,201	0	52 232,076	中赤崎地区
一一人	7,671		13	13	0	32 232,070	
泊里	45,544	55 0	15,406	5,643	0	48 270,281	
	7,140 1	7 100.0	17	17	0		港・岩崎地区
							平地区
							→ 清水地区
							也区画整理地内)
							土地区画整理地内)
							(人地区画教理地内)
.i. =1	100 770	20	00.047	44.404	٥١	1 410 0 004 000	区(工柜区圖是连电内)
小計	162,770 37 76,531 13	35	89,647 135	44,481 135	0	410 2,384,233 0 0	(土地区画整理地内)
	7,5,50.1	<u></u>			<u> </u>	<u> </u>	区(土地区画整理地内)
							区 (土地区画整理地内) 峰岸地区 油板地区
							細浦 地区
							堂の前地区 小河原地区 (平林) 小河原地区 (上山) 小細浦地区
	コミュニティの力が強く、ほと						小河原地区 (上山) 小細浦地区, 両替地区
	コミュニティにまた加わりたし意向であったため、それぞれ						三日市地区 (鶴巻)
経緯	再建となった。また、平地の	少ない地形であ	るため、適地				脇の沢地区が設地区
	を探すと、どうしても分散して 言等を受けながら既存住宅	てしまっので、字譜 の中の空き地に	戦経験者の助   も団地用地を				地区 ( )
	設定する差込型を取り入れ		011111111111111111111111111111111111111				(中区画整理地内) 梅神 地区
							茂里花地区新田地区
							WILLIANS CO.
							Emiliary !
							長洞地区
							凡 例 大野地区
	スピード感を重視した。事業	認可のスピード	ではなく、住民				事業区域_区画整理 事業区域_津波拠点
合意形成	へのアプローチについてスト 域住民へ説明の機会を持つ	ピード感を意識し、 た時期も早く #	て進めた。地				事業区域_防集(住宅団地)
口忌炒队	けての仕組みや概要を説明	1し、地域で考えて					浸水区域_被災実績
	住民主導の高台移転を実現						<b>国工工工</b> 鉄道 (H30 時点)
							Thomas Control of the
	<u> </u>						ı

地域別カルテ | 市町村名 | | 大船渡市 |

市町村名	大船渡市								
地域名	赤崎地域								
		よる赤崎地域の	被害は、死者数	(52人、行方不	明者は6人、住	家の被害は917世帯、そのうち	全壊が540世帯	きでした。	浦浜中·西地 浦浜南地
整備方針	災害危険区域	えのうち、住民の	居住に適当でな	いと認められ	る区域内にある	住居の集団的移転を促進する	5.	浦浜南地区 浦浜南地区 浦浜南地区	
建築規制	災害危険区域(	こよる住居建築の	の禁止(第1種区は			災害危険区域 第1種、第2種A、B、C	指定 大船渡湾	502ha	泊地区
地区名	住宅用地(m²)	移転対象戸数(戸) 団地移転戸数(戸)	空き区画数 活用割合	上. 合計	段:整備面積(n 自己再建	f)) 下段:戸数(戸) 公営住宅 ┃	居住人口 (人)	用地·整備等費用 (千円)	
佐野	5,553 1,725		0 100.0	3,107 5	1,652 5	0	13	130,321	
中赤崎	74,718 51,546			66,483 59	18,492 59	0	171	4,049,160	
永浜	20,074 9,486	35	0	28,978 28	9,226 28	0	87	815,394	
清水	10,210 3,186	19	0	7,031	1,977	0	30	215,019	下舘下地区
蛸ノ浦	17,743 6,202	44	0 100.0	15,391 16	5,277 16	0	46	350,222	
	0,202	10	100.0	10	10	0			中赤崎地区
									永浜地区港·岩崎地区
									平地区
									也区画整理地内)
									土地区画整理地内)  「土地区画整理地内)  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
									区 (土地区画整理地内)
									区 (土地区画整理地内)
									☑ (土地区画整理地内) 峰岸地区 神坂地区
小計	128,298			120,990	36,624	0	347	5,560,116	細浦 地区
	72,145	114		114	114	U	0	0	堂の前地区 小河原地区 (平林) 小河原地区 (上山) 両替地区
	コミュニティの	力が強く、ほとん	んどが以前住ん	でいた地区の					三日市地区 (鶴巻)
67 6±	意向であったが	ため、それぞれ	、その中で再建のコミュニティ単	位での住宅					地内) 地内) 地区画整理地内)
経緯	を探すと、どう	しても分散して	〉ない地形である しまうので、学識	経験者の助					泊里地区
		から既存任モの型を取り入れた	)中の空き地に <del>፣</del> :。	5回地用地で					茂里花地区 新田地区
									見 例 長洞地区 ·
	スピード感を重	直視した。事業詞	忍可のスピードで	ではなく、住民					事業区域_区画整理 大野地区
合意形成	域住民へ説明	の機会を持った	ード感を意識して と時期も早く、生	活再建に向					事業区域_津波拠点 事業区域_防集(住宅団地) 浸水区域_被災実績
		台移転を実現った	、地域で考えて できた。	ひらりことで					(H30 時点) 田谷地区 (20 日谷地区 (20 日子
									○ 高速道路 (H30 時点)
	<u> </u>								

<u>地域別カルテ</u> R6.4時点

地域別グル	<b>/</b>   上 かい								1	K0.4吋딨
市町村名	大船渡市									
地域名	大船渡地域									
被害の状況	地震・津波によした。	る大船渡地域	の被害は、死者	f数137人、行力	万不明者数は19	)人、住家の被	害は1,805世帯、	そのうち全壊	が1,113世帯で	浦浜仲·西地 浦浜南地
整備方針	災害危険区域	のうち、住民の	居住に適当でな	ないと認められ	る区域内にある	住居の集団的	移転を促進する	5.		浦浜南地区 浦浜南地区 浦浜南地区
建築規制	災害危険区域に	こよる住居建築の	の禁止(第1種区	域)、制限(第2科	重区域A、B、C)		:険区域 2種A、B、C	指定 大船渡湾	状況 502ha	泊地区
地区名	移転促進区域(㎡) 住宅用地(㎡)	移転対象戸数(戸) 団地移転戸数(戸)	空き区画数 活用割合	上. 合計	段:整備面積(n 自己再建				用地·整備等費用 (千円)	~ / 4
大船渡	71,297	202	0	12,641	4,642	0		52		
	20,004	18	100.0	18	18	0				
										下舘下地区
										中赤崎地区
										港·岩崎地区
										永浜地区
										平地区
										也区画整理地内)
										区 (土地区画整理地内)
										(土地区画整理地内)
										区 (土地区画整理地内) 峰岸地区
小計	71,297	202		12,641	4,642	0		52	346,319	細浦 地区
7,1	20,004	18		18	18	0		0		堂の前地区 小河原地区 (平林) 小河原地区 (上山) 「両替地区
	コミュニティの:	カが砕く ほとん	(ルがい前住人	でいた地区の						三日市地区 (鶴巻)
	コミュニティにる 意向であったか	また加わりたい	、その中で再建	したいという						地内) 脇の沢地区 柳沢地区 門之浜地区
経緯	再建となった。	また、平地の生	ンない地形であ <sub>.</sub>	るため、適地						地区画整理地内) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
	を探すと、どう言等を受けなれ	がら既存住宅の	)中の空き地に	裁経験者の助 も団地用地を						茂里花地区
	設定する差込	型を取り入れた	-0							<b>新田地区</b>
										長洞地区
										凡 例 大野地区
	へのアプロー	チについてスピ	忍可のスピード <sup>っ</sup> ード感を意識し	て進めた。地						事業区域_津波拠点
合意形成	域住民へ説明けての仕組み	や概要を説明し	、地域で考えて	活再建に向 (もらうことで						事業区域_防集(住宅団地)
	住民主導の高	台移転を実現	できた。							(H30 時点) (高速道路 (H30 時点)

地区(団地)別カルテ

地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、	面積(ha)	1.45	a trians. Francescent	A DUAL HILL SAME STATE TO SEE STATE	
地区: 峰岸	移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	21	0		
団地: 峰岸	がら事業を進めた。団地の 位置は従前の集落に比較	(うち、公営住宅)	0			●H27.6 宅地引渡U
	的近い高台とした。海に近	居住人口(人)	62			
	いが高台であるため、津波による浸水はしない場所で	整備費用(千円)	365,005	The state of the s		事業計画: H25~R2
	あるとのシミュレーション結果を得て場所を決定。埋蔵	用地取得費	35,645			用地取得·調査設計: H24~H25
	未を侍 (場所を決定。埋蔵    文化財の発掘作業を経て	住宅敷地造成費	324,719			造成工事:H25~H27
	造成。	関連公共施設造成費	4,641			
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.69			
地区: 神坂	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	9	a Disable Freetablic En	± ± 4,40 (1) ± 4,000 (1) + 1,0	
団地: 神坂	がら事業を進めた。団地の 位置は従前の集落に比較	(うち、公営住宅)	0		RACHE EX	●H27.3 宅 <mark>地引渡し</mark>
	的近い高台とした。従前の	居住人口(人)	30			
	集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と	整備費用(千円)	229,803			事業計画: H25~R2
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	用地取得費	34,759			用地取得·調査設計: H24~H25
	した。	住宅敷地造成費	166,318			造成工事: H26~H27
		関連公共施設造成費	28,726		**************************************	
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.27		- CONTINUE TRUE (1991)	
地区: 細浦※	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	5	Security description		
団地: 細浦①	がら事業を進めた。団地の 位置は従前の集落に比較	(うち、公営住宅)	0			H27.1 宅地引渡し   ににに
	的近い高台とした。従前の 集落に比較的近い集落内	居住人口(人)	13			
※の整備費用は細浦地区合計	にある高台を防集団地と	整備費用(千円)	242,030			事業計画: H25~R2
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	用地取得費	26,940			用地取得·調査設計: H24~H25
	Ltz.	住宅敷地造成費	215,090	Control of the contro		造成工事: H25~H26
		関連公共施設造成費	0			
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.64		25MSH8748 <sub>21</sub> (233)	
地区: 細浦	ついて協力していただきながら事業を進めた。団地の	整備戸数(戸)	8	Description of the security of	79 gativas	●H27.1 宅地引渡し
団地: 細浦②	位置は従前の集落に比較	(うち、公営住宅)	0			
	的近い高台とした。従前の 集落に比較的近い集落内	居住人口(人)	23		Diff Chart	
	にある高台を防集団地と	整備費用(千円)				事業計画: H25~R2
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	用地取得費	-		100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	用地取得·調査設計: H24~H25
	した。	住宅敷地造成費	-	The state of the s	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造成工事: H25~H26
	白海人生产田地の電ウ	関連公共施設造成費	-			
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.51	Secretary Control of the Control of	小韶浦地区土地利用計画図 [安安後]	
地区: 小細浦	ついて協力していただきながら事業を進めた。従前の	整備戸数(戸)	8	0		●卅25.12 宅地引渡し
団地: 小細浦	集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			
	にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既	居住人口(人)	15			
	存集落に溶け込むよう配慮した。	整備費用(千円)	148,917	The same of the sa		事業計画: H25~R2
	U/~°	用地取得費	47,398			用地取得・調査設計: H24~H25
		住宅敷地造成費	101,519	Employee Services	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	造成工事:H24~H25
		関連公共施設造成費	0			

地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、	面積(ha)	1.66		have at a shown I taken (REE)	17%20 1 2 1 7%20 1 2 1 7%20 1 2 1 7%20 1 2 1 7%20 1 2 1 7%20 1 2 1 7%20 1 2
地区: 小河原※	移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	29	THE THE STATE OF T		
団地: 平林	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			→ H27.6 <mark>宅地引渡し</mark>
	にある高台を防集団地と	居住人口(人)	78			
※の整備費用は小河原地区合計	し、防集事業の造成地が既存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	706,656			事業計画: H25~R2
	Lt:	用地取得費	212,396			用地取得·調査設計: H24~H27
		住宅敷地造成費	329,405	The state of the s		造成工事: H25~H27
		関連公共施設造成費	164,855			
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.27			
地区: 小河原	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	6	W NEW PROFESSION OF	a +	
団地: 上山	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			●H27.6   宅地引渡し
	にある高台を防集団地と	居住人口(人)	16			
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	_		888	事業計画: H25~R2
	した。	用地取得費	-			用地取得·調査設計: H24~H27
		住宅敷地造成費	-	We have a second		造成工事: H25~H27
		関連公共施設造成費	-		VIII	
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.24			
地区: 小河原	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	6	a printing the engages and		
団地: 鶴巻	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0			●H27.6 <b>宅地引渡し</b>
	にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既	居住人口(人)	16			
	存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	_	V Comments of the comments of	Tank Tank Tank Tank Tank Tank Tank Tank	事業計画: H25~R2
	した。	用地取得費	-			用地取得・調査設計: H24~H27
		住宅敷地造成費	-	The state of the s		造成工事: H25~H27
	自治会等に用地の選定、	関連公共施設造成費	-			
地域: 大船渡市	移転者希望者の取りまとめ	面積(ha)	0.50	e Disaffic Passagenc BN		
地区: 梅神※	について協力していただき ながら事業を進めた。従前	整備戸数(戸)	10	0	AMARICI NO.	●H27.4 宅地引渡し
団地: 梅神①	の集落に比較的近い集落	(うち、公営住宅)	0			
ツの数供弗田は佐知県区へ記	内にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既	居住人口(人)	100.405			
※の整備費用は梅神地区合計	存集落に溶け込むよう配慮した。	整備費用(千円) 用地取得費	189,465			手未計画: FI25~R2
	"	用地取符頁 住宅敷地造成費	33,349 104,808		来適野	造成工事: H24~H25
		関連公共施設造成費	51,308	The state of the s		<b>退</b> /%工事。1127 - 1120
	自治会等に用地の選定、	面積(ha)	0.21			<del>                                     </del>
地区: 梅神	移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	3.21	Separation of the second second	本的 (中) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	
団地: 梅神②	がら事業を進めた。従前の	(うち、公営住宅)	0	MA AND THE REST OF THE PARTY OF		●H27.4 宅地引渡し
	集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と	居住人口(人)	14			
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)			(Spanish and Spanish and Spani	
	仔条洛に浴り込むよつ配慮した。	用地取得費	_	~ 份重写		用地取得•調査設計: H24~H25
		住宅敷地造成費	_			造成工事: H24~H25
		関連公共施設造成費	_	THE PARTY OF THE P	WILL THE WILL THE WILL THE WAY	
<u> </u>	<u>.                                    </u>	, ALC - A NORALINA			l	

地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度
地域: 大船渡市地区: 門之浜※	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな	面積(ha) 整備戸数(戸)	0.26	* DE AMILITAS PARAMICES	LAMANDARIA (1589)	
団地: 門之浜①	がら事業を進めた。従前の	(うち、公営住宅)	٥			●H26.3 宅 <mark>地引渡し</mark>
	集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と	居住人口(人)	17			
※の整備費用は門之浜地区合計	□ 防集事業の浩成地が野	整備費用(千円)	232,076		m. Mary	事業計画: H25~R2
	した。	用地取得費	32,036			用地取得·調査設計: H24~H25
		住宅敷地造成費	200,040	The state of the s		造成工事: H25~H25
		関連公共施設造成費	0			
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.73		[24 753.4 D 89	
地区: 門之浜	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	8	D DE PARTIE DE PROPERTIE DE	THE	
団地: 門之浜②	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	-			H26.3 宅 <mark>地引渡し</mark>
	にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既	居住人口(人)	35			
	存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	_			事業計画: H25~R2
	した。	用地取得費	-			用地取得·調査設計: H24~H25
		住宅敷地造成費	-	THE COLUMN TWO IS NOT		造成工事: H25~H25
	自治会等に用地の選定、	関連公共施設造成費	- 4 54			
地域: 大船渡市地区: 泊里	移転希望者の取りまとめに	面積(ha) 整備戸数(戸)	1.54	e newsparters and the second	土地利用計劃図	
地区: 泊里団地: 泊里	ついて協力していただきな がら事業を進めた。従前の	金岬戸剱(戸)	17	0		●H27.7 宅地引渡
四地、石主 	集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と	居住人口(人)	48			
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	270,281			
	した。	用地取得費	12,544			用地取得·調査設計: H24~H26
		住宅敷地造成費	94,405	The state of the s		造成工事: H26~H27
		関連公共施設造成費	163,332	The state of the s		
地域: 大船渡市	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに	面積(ha)	0.31		位形化区(col.2) 土地利用計画図 54500000	
地区: 佐野	ついて協力していただきな	整備戸数(戸)	5	o number of managements	William Willia	
団地: 佐野	がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内	(うち、公営住宅)	0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	●H26.5 宅地引渡し
	にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既	居住人口(人)	13			
	存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	130,321			事業計画: H25~R2
	した。	用地取得費	49,710		602 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	用地取得·調査設計: H24~H25
		住宅敷地造成費	80,611	A STATE OF THE STA		造成工事: H25~H26
地世。十秋海士	自治会等に用地の選定、	関連公共施設造成費	0		他2団地	
地域: 大船渡市地区: 中赤崎	移転希望者の取りまとめに	面積(ha) 整備戸数(戸)	6.65 59	a Distributive and Strice Dis		
団地: 中赤崎	ついて協力していただきながら事業を進めた。従前の	金岬戸剱(戸) (うち、公営住宅)	09 01			**************************************
HELD : TONER	集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と	居住人口(人)	171			
	し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮	整備費用(千円)	4,049,160	The same of the sa		
	仕集洛に洛け込むより配慮した。	用地取得費	300,533			用地取得·調査設計: H24~H28
		住宅敷地造成費	2,774,406	The state of the s		造成工事: H26~H29
		関連公共施設造成費	974,221		他4団地	

地区·団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度
地域: 大船渡市 地区: 永浜 団地: 永浜	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮 した。	面積(ha) 整備戸数(戸) (うち、公営住宅) 居住人口(人) 整備費用(千円) 用地取得費	2.90 28 0 87 815,394 27,968		未来电区 土地利用計画区 P1700AD	●H28.11 宅地引渡し 事業計画: H25~R2 用地取得・調査設計: H24~H26
	6 V 6 M 15 M 14 6 V 25 C	住宅敷地造成費 関連公共施設造成費	502,241 285,185	Section 1 Control of the Control of		造成工事: H25~H28
地域: 大船渡市 地区: 清水 団地: 清水	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮 した。	面積(ha)整備戸数(戸)(うち、公営住宅)居住人口(人)整備費用(千円)用地取得費住宅敷地造成費関連公共施設造成費	0.70 6 0 30 215,019 36,067 178,952	PROPRIOR AND	(201) 土地利用計画図 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	●H26.9 宅地引渡し 事業計画: H25~R2 用地取得・調査設計: H24~H25 造成工事: H25~H26
地域: 大船渡市 地区: 蛸ノ浦 団地: 蛸ノ浦	自治会等に用地の選定、 移転希望者の取りまとめに ついて協力していただきな がら事業を進めた。従前の 集落に比較的近い集落内 にある高台を防集団地と し、防集事業の造成地が既 存集落に溶け込むよう配慮 した。	面積(ha) 整備戸数(戸) (うち、公営住宅) 居住人口(人) 整備費用(千円) 用地取得費 住宅敷地造成費 関連公共施設造成費	1.54 16 0 46 350,222 37,988 312,234	The second of th	(A)	●H27.10 宅地引渡し 事業計画: H25~R2 用地取得・調査設計: H24~H26 造成工事: H26~H27
地域: 大船渡市 地区: 大船渡 団地: 大船渡	市が用地の選定、移転希望者の取りまとめを行い事業を進めた。従前の集落に比較的近い高台及び震災前からの空き地を活用して宅地造成を行った。	面積(ha)整備戸数(戸)(うち、公営住宅)居住人口(人)整備費用(千円)用地取得費住宅敷地造成費関連公共施設造成費	1.26 18 0 52 346,319 128,705 217,290 324	This is a state of	作用于电区土电利用计图区	●H27 5 宅地引渡し 事業計画: H25~R2 用地取得・調査設計: H24~H26 造成工事: H26~H27

1 カルテ R6.4時点

市町村名	陸前高田市	地域名	半島部地区								110.74可 派
被害の状況	陸前高田市の だった。	)地震・津波に									
整備方針	当該区域は達 このため、住 住居の移転を	民の居住に通	当でないと認	けており、今回 はめられる区域	国震災並みのだ においては、	津波が再来し 住民の意向な	た場合、再び を踏まえて防災	同様の被害か 災集団移転事	が生じることが 業を実施し、3	懸念される。 安全な場所に	下舘下地区
建築規制	災害危険区域	域内(移転元均	也)においては	、住居の用に	供する建築物	かを建築しては	はならない、と	した。			
区域名	移転促進区域(㎡) 住宅用地(㎡)	移転対象戸数(戸) 団地移転戸数(戸)	空き区画数 活用割合	上段 合計	t:整備面槓(n 自己再建	f) 下段:戸数 公営住宅	女(尸)	居住人口		災害危険区域	
長部	153,621 139,446	257 102	1	79,065			0	248			
米崎	233,194 194,261	311 74	0	47,060	24,420	0	0	125	1,240,895		
小友	196,363 173,961	254 51	0	44,794	16,830	0	0	139	825,482 0		平地区
広田	231,276 204,947	347 124	1	105,784	40,920		0	320	3,671,961		館地区
	204,347	127	33.2	124	124						下矢作地区 高田地区 (土地区画整理地内)
											同田地区 (工地区画堂] 其他的)
											峰岸地区 神 細浦?地区
										-	脇の沢地区 細浦?地区 神
											堂の前地区 小河原地区 (平林) 小細
											小河原門之
											今泉地区(土地区画整理地内) 一
											上長部地区
											茂里花地区
							1				双六地区
小計	814,454 507.668	1,169 351		276,703 340	112,152 340	0		832 0		0	要谷地区
		成」のとおり、 -ズにT事が	移転先が決定	定してからは							福伏地区
	に住宅建築が活を送る被災	「行われ、すっ	でに多くの住宅	で新しい生							広田大野地区 田谷地区 今 イケ浦地区
	A C C O IX X	日かたりん	ه تع								大沢A住宅団地
											力地区 大沢B建宅団地
経緯											中沢地区
											R. 例
	住宅再建事業は、被災した										事業区域」区画整理
	台への移転が 地域ごとに希	が可能となる。 望移転先の記	ことから、本市 調整やある程	においては、 度の地権者							事業区域 津波拠点 事業区域 防集 (住宅団地) 浸水区域 被災実績
	との交渉等に										th (H30 時点)
											海根 2 地区宅団地

	地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度  平成24年度  平成25年度  平成26年度  平成27年度  平成28年度  平成29年度
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域	面積(ha)	3.85		6.6世紀以及及日初和紀念年末 土地利用計画図(月山地区) 5-1:2000	1 M20+12   M21+12   M20+12   M
地区:	長部	外となることを前提とし て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	50	(4.6 - 竹幣・高田 - 中部37円)	*	
団地:	月山	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	Martin   M		H278 宅地引渡し
		セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	137	The state of the s		
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	1,584,504			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定し	用地取得費	58,597	B		用地取得·調査設計: H24~H25
		<i>T</i> ≤₀	住宅敷地造成費	682,316		東京後   - 1	造成工事: H25~H27
			関連公共施設造成費	843,591	0~	2 1 100 100 100 100 100	
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域 外となることを前提とし	面積(ha)	1.21	野贸集团和软件 <b>产业</b> 作之团场位置国		
地区:	長部	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	17	(CO - 118 Apr - 1.2 No.)	\ <u>+</u>	
団地:	上長部	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0		T	●H26.2 宅地引渡し
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	32	A STEEL		
		中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	572,735			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定した。	用地取得費	18,796			用地取得·調査設計: H24
		0	住宅敷地造成費	256,381		**************************************	造成工事: H24~H25
			関連公共施設造成費	297,558		2 2 1 1000 2 2 1 1000	
		東日本大震災の浸水区域 外となることを前提とし	面積(ha)	1.12	防災集団移転貨艦事業 住宅団地位置図	### Table   T	
地区:	長部	て、地域コミュニティ維 持の観点から、被災前の	整備戸数(戸)	6	The control of the	* Samuel on Morning	●H27.6 宅地引渡し
団地:	双六	集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	[ \infty   \infty		H27.6   毛电51渡U
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	26	LANK DE LANK		
		中で地域地権者の内諾を 得られた場所を選定し	整備費用(千円)	274,231			事業計画: H24~R2
		た。	用地取得費	28,208			用地取得·調査設計: H24
			住宅敷地造成費	42,610		3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造成工事: H24~H27
11h 1 <del>-1</del>	# <del>*</del>		関連公共施設造成費	203,413		10.100	
	陸前高田市	外となることを前提とし	面積(ha) 整備戸数(戸)	0.56	助災集団移転促進事業 住宅団地位置図	A####################################	
地区:		て、地域コミュニティ維 持の観点から、被災前の		0	(0.1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+	●H27.6 <mark>宅地引渡し</mark>
四地:	双六第三	集落に近接し、交通アク セスが良好な箇所を候補	(うち、公営住宅) 居住人口(人)	1.4	C4 (2)		
		地として絞り込み、この	整備費用(千円)	123,783	LA TON TO CO.		
		中で地域地権者の内諾を 得られた場所を選定し	用地取得費	6,617	TO SEEME		
		<i>t</i> =。	住宅敷地造成費	41,590			造成工事: H24~H27
			関連公共施設造成費	75,576		2 2 100 100 100 100 100 100 100 100 100	
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域	面積(ha)	0.57		A LANGE TO TAKE TO THE TAKE THE T	
地区:		外となることを前提とし て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	7	70. 780.27 San	ADDRESSERVER	
団地:		持の観点から、被災前の	(うち、公営住宅)	0	100.7 (MARKY   MARKY   MARK	###	→ H25.12 宅 <mark>地引渡し</mark>
		集落に近接し、交通アク セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	24	14		
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	60,985			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定し	用地取得費	9,513	7-2		用地取得·調査設計: H24
		<i>T</i> ≤。	住宅敷地造成費	21,011			造成工事: H25
			関連公共施設造成費	30,461	٥٠٠٠	2 4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
		•					ı

	地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域 外となることを前提とし	面積(ha)	0.60	防災等限務公安走事事 作之网络位置国	系根据及BSC第229年6/84年至 土地利用計画図(福伏地区) 5-1:2006	
地区:	長部	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	5	THE TRUE TO SERVICE TO		
団地:	福伏	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	TENED (19.150 - 19.554)	*	●H <mark>26.12 宅地引渡し</mark>
		セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	15			
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	83,634			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定し	用地取得費	16,459	(2) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		用地取得·調査設計: H24~H25
		<i>7</i> = 。	住宅敷地造成費	20,219		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造成工事: H25~H26
			関連公共施設造成費	46,956	0	PAURIA	
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域外となることを前提とし	面積(ha)	4.46	防災論問科報伊達本董 作中開放位置國	メ素性医院記憶等を行為手表 土地利用計画図(脇の沢地区) 5-1:3000	
地区:	米崎	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	69	(a. p. 1988 - Am - 9 8402)		
団地:	脇の沢	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0			H27.6 <mark>宅地引渡し</mark>
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	115			
		中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	1,178,302			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定した。	用地取得費	247,117		東東後	用地取得·調査設計: H24~H25
			住宅敷地造成費	499,390		# 0 7.000 #1040028 1.000 # 0 1.000	造成工事: H25~H27
			関連公共施設造成費	431,795	0	2 N 1 Ustri	
		東日本大震災の浸水区域外となることを前提とし	面積(ha)	0.24	助災集団移動保護事業 住宅団施公園図   ***********************************	#####################################	
地区:	米崎	て、地域コミュニティ維 持の観点から、被災前の	整備戸数(戸)	5	70 9000750000000000000000000000000000000	1	H25.9 宅地引渡し
団地:	堂の前	集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	10 GD	*	The state of the s
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	10	ZEAZ III		
		中で地域地権者の内諾を 得られた場所を選定し	整備費用(千円)	62,593		First Co	事業計画: H24~R2
		た。	用地取得費	28,870		200 A A	用地取得·調査設計: H24
			住宅敷地造成費	23,031		# 9 164 902484 154 # 1 264	造成工事: H25
11h 1-#	<b>味益言四十</b>	東日本大震災の浸水区域	関連公共施設造成費	10,692	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	33 000	
地区:	陸前高田市	外となることを前提とし	面積(ha) 整備戸数(戸)	1.07		○SMERDISADDREBASE 土地利用計画図(両替地区) 5-1:2000 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
団地:		て、地域コミュニティ維 持の観点から、被災前の	金畑戸数(戸) (うち、公営住宅)	14	ACT THE STATE OF T		→ H26.4 <b>宅地引渡</b>
四地:	川首	集落に近接し、交通アク セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	41	40		
		地として絞り込み、この	整備費用(千円)	41 170,414	NESS THE RESERVE OF THE PERSON		
		中で地域地権者の内諾を 得られた場所を選定し	用地取得費	22,998	The same of the sa		
		た。	住宅敷地造成費	65,380			造成工事: H25~H27
			関連公共施設造成費	82,036	0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域	面積(ha)	0.46	防災事間移私促進事業 作主网络位置网	◆AMERICA 23944年4年 土地利用計画図(三日市地区) 5-1-2000	
地区:		外となることを前提とし て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	5	75 792227 Target — A70227 Target — 47-428 78 1419	+ C17/118 (MIRE \ + 1/4-E6/ ) 51.700	
	三日市	持の観点から、被災前の	(うち、公営住宅)	0	100.1 (1 (2 data 4 )		●H25.11 宅地引渡し
	-	集落に近接し、交通アク セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	14	J-4		
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	73,492			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定し	用地取得費	19,906	Transa	her ships	用地取得·調査設計: H24
		<i>†</i> ≤。	住宅敷地造成費	19,109			造成工事:H25
			関連公共施設造成費	34,477	0	************************************	
				, ,			1

	地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度  平成24年度  平成25年度  平成26年度  平成27年度  平成28年度  平成29年度
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域外となることを前提とし	面積(ha)	1.01	防災集団移抗伊達本策 伊土団地位置図 ************************************	○並作工的文章で表現を表示者 土地利用計画図(柳沢地区) 5-1:2000	1772-12 1772-12 1772-12 1772-12 1772-12
地区:	小友	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	9	(a-ty - 17th - Am - 9 page)	+	
団地:	柳沢	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	H27.3 宅 <mark>地引渡し</mark>
		セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	22	CAME OF THE PARTY		
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	199,491			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定し	用地取得費	16,309			用地取得·調査設計: H24~H25
		/= <sub>0</sub>	住宅敷地造成費	53,696		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造成工事: H25~H26
			関連公共施設造成費	129,486		1	
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域と外となることを前提とし	面積(ha)	0.41	野災事間移転促進事業   行主開施位置図	◇北市及及北京工学和社会中央 土地利用計画図(茂里花地区) 5-1:2000	
地区:	小友	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	5	700 700 Fee	*	
団地:	茂里花	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	Company (a to the control of the con		H27.3 宅地引渡し
		セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	13	TARRE TO STANK		
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	110,524			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定した。	用地取得費	7,234	To gar und		用地取得·調査設計: H24~H25
		7-0	住宅敷地造成費	44,992		1	造成工事: H25~H26
			関連公共施設造成費	58,298	0	できる。 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100	
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域	面積(ha)	0.68	男贝华网络似伊走中寨 作主网络位置网	○3/10月75/2/2019年6月47年 土地利用計画図(新田地区) 5-1:2000	
地区:		て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	7	10. TESTITUTE (10. LANGE   1. LAN	*	
団地:	新田	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	50 000		H26.3 宅地引渡し
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	16	CARD CARD		
		中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	145,781			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定した。	用地取得費	17,452	The said		用地取得·調査設計: H24~H25
			住宅敷地造成費	45,634		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造成工事: H25
		   東日本大震災の浸水区域	関連公共施設造成費	82,695	0	25 安東東	
	陸前高田市	外となることを前提とし	面積(ha)	0.83		○3-18/2002年日時報返車車 土地利用計画図(只出地区) 5-1:2002 1	
地区:		て、地域コミュニティ維持の観点から、被災前の	整備戸数(戸)	11	SAME OF THE PROPERTY OF THE PR	* I	●H26.5 宅地引渡し
団地:	只出	集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0			
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	33	DECEMBER OF THE PROPERTY OF TH		
		中で地域地権者の内諾を 得られた場所を選定し	整備費用(千円)	115,780			事業計画: H24~R2 用地取得·調査設計: H24~H25
		た。	用地取得費 住宅敷地造成費	13,790 51,793			出地取付・調宜設計: H24~H25   造成工事: H25~H26
			性七叛地這成貨 関連公共施設造成費	50,197		# 1	世   八 工 尹 .
tah tat ·		 東日本大震災の浸水区域	関連公共施設這成貨 面積(ha)	0.64	助贸集团科特伊泽本東 使光团纳位军团	**	<del>                                     </del>
地区:		外となることを前提とし て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	0.04 Q	野突動団神経伊達事業 伊州団味位革団 100mmm 100mm 100	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
団地:		持の観点から、被災前の	(うち、公営住宅)	0	TENDED AS A SECOND SECO		H27.2 宅地引渡し
14,26.	ノヘエリ	集落に近接し、交通アク セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	22	-48		
		地として絞り込み、この	整備費用(千円)	336,958			
		中で地域地権者の内諾を 得られた場所を選定し	用地取得費	7,934	To generally		
		<i>t</i> =.	住宅敷地造成費	135,363	्यानीकाम् <u>गावती कर्वा</u> करोजनाः <u>गानीकर्वाम्</u> (सम्राजनीकाः	3.3.5.	造成工事: H25~H26
			関連公共施設造成費	193,661	0	1	
			以左ムハル政児以具	100,001		2	1

	地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程   平成23年度   平成24年度   平成25年度   平成26年度   平成27年度   平成28年度   平成29年度
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域 外となることを前提とし	面積(ha)	1.41	野災集団移転促進事業 住宅団地位置図 ************************************	G/MBERDIZERBRUGEFE 土地利用計画図(広田大野地区) 5-1:2000	
地区:	広田	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	18	The second secon	*	
団地:	広田大野	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	THE TOTAL TO		H27.1 宅地引渡し
		セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	39	CARN	AS DEPARTMENT	
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	699,799			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定した。	用地取得費	17,646	B		用地取得·調査設計: H24~H25
		/0	住宅敷地造成費	304,432		1	造成工事: H25~H26
			関連公共施設造成費	377,721	0	できる。 できる	
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域 外となることを前提とし	面積(ha)	0.66	防災集門移飲保護事業 作宅門地位置図	CRMEKRACKADNEGGERA 土地利用計画図(六ヶ浦地区) 5-1-2005	
地区:	広田	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	9	(A.S. S. M. M. S.	**************************************	
団地:	六ヶ浦	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	(6 if (2))		●H26.6 <b>宅地引渡し</b>
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	21	PARTIE .		
		中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	139,648			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定した。	用地取得費	10,525			用地取得·調査設計: H24~H25
			住宅敷地造成費	58,079		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造成工事: H25~H26
		 	関連公共施設造成費	71,044	0	22 変要後	
	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域 外となることを前提とし	面積(ha)	0.66	防災事務發促逐事業 作中网络位置国	© では、取りままでの私はよる事業 土地利用計画図(久保地区) 5-1:2001 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
地区:	広田	て、地域コミュニティ維 持の観点から、被災前の	整備戸数(戸)	7	NOT THE TAXAS.    CHARGE STATE   CHA	*	□ H26.7 <b>宅地引渡</b>
団地:	久保	集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0			1 2 2 2 3 1/20
		セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	20	THE STATE OF THE S		
		中で地域地権者の内諾を 得られた場所を選定し	整備費用(千円)	150,680			事業計画: H24~R2
		た。	用地取得費	13,681		Meadassi	用地取得・調査設計: H24~H25
			住宅敷地造成費 関連公共施設造成費	48,762 88,237		\$\cap \cap \cap \cap \cap \cap \cap \cap	造成工事: H25~H26
tuh tat .		   東日本大震災の浸水区域	角建公共施設追戍負 面積(ha)	1.28	B) 贝辛門移私保定申華 作宅門培仏屋同	24 変要後	
		外となることを前提として、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	1.20	Supplemental State of	EMMSRXX前84056+8 土地利用計画図(長洞地区) 51:2000	
団地:		持の観点から、被災前の	(うち、公営住宅)	0	Taken and the second		●H26.6 <mark>宅地引渡し</mark>
22.50	IX/IFI	集落に近接し、交通アク セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	42	740		
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	173,539			
		得られた場所を選定し	用地取得費	18,545			用地取得·調査設計: H24~H25
		/ <del>-</del>	住宅敷地造成費	57,277		· · · ·	造成工事: H25~H26
			関連公共施設造成費	97,717		14 TERMS 12	
地域:	陸前高田市	東日本大震災の浸水区域	面積(ha)	3.18	助與集階發於便速事業 作用開始位置国	© 日本	
地区:		外となることを前提とし て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	34	75. 3000 cm. 40. cm	<b>A</b>	
団地:	田谷	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0			H27.3 宅 <mark>地引渡し</mark>
		セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	86	1		
		地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	1,437,569			事業計画: H24~R2
		得られた場所を選定し	用地取得費	38,570	E 12 and a part of the final part of the fina		用地取得·調査設計: H24~H25
		<i>7</i> ≤。	住宅敷地造成費	517,209		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	造成工事: H25~H26
			関連公共施設造成費	881,790	0	1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	
		•	<u> </u>				

地区•団地名	沿革·特色·工夫	整備概要		浸水区域及び事業の概ねの位置	土地利用計画	工程 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度
地域: 陸前高田市	東日本大震災の浸水区域	面積(ha)	0.49	助災集団移動促進事業 住宅団地位置図	GDPBIRSENBANGS+8 土地利用計画図(中沢地区) 5-1:0000	
地区: 広田	外となることを前提とし て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	9	An - 118 - Au - 4425	+	
団地: 中沢	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	Martin   M		● 〒25.12 宅地引渡し
	セスが良好な箇所を候補	居住人口(人)	24	5-4-1		
	地として絞り込み、この 中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	112,870			事業計画: H24~R2
	得られた場所を選定し	用地取得費	7,362			用地取得·調査設計: H24~H25
	<i>T</i> =0	住宅敷地造成費	68,151		\$ 0.4 h 1 1000	造成工事: H25
		関連公共施設造成費	37,357	0	大	
地域: 陸前高田市	東日本大震災の浸水区域 外となることを前提とし	面積(ha)	2.26	野災集団移公保護事業 作宅団地位置図 ************************************	N. 1882	
地区: 広田	て、地域コミュニティ維	整備戸数(戸)	25	700 - 200 M Base	1.	
団地: 泊	持の観点から、被災前の 集落に近接し、交通アク	(うち、公営住宅)	0	3.5.3.5 PAR   PAR		H27.5 <mark>宅地引渡し</mark>
	セスが良好な箇所を候補 地として絞り込み、この	居住人口(人)	66	STATE OF THE STATE		
	中で地域地権者の内諾を	整備費用(千円)	620,898			事業計画: H24~R2
	得られた場所を選定した。	用地取得費	80,141		and the second second	用地取得·調査設計: H24~H25
		住宅敷地造成費	202,287			造成工事:H25~H27
		関連公共施設造成費	338,470	0		
地域:		面積(ha)				
地区:		整備戸数(戸)				
団地:		(うち、公営住宅)				
		居住人口(人)				
		整備費用(千円) 用地取得費				争未計画:   用地取得·調査設計:
						造成工事:
		関連公共施設造成費				起,从工事。
		面積(ha)				
地区:		整備戸数(戸)				
団地:		(うち、公営住宅)				
		居住人口(人)				
		整備費用(千円)				事業計画:
		用地取得費				用地取得•調査設計:
		住宅敷地造成費				造成工事:
		関連公共施設造成費				
地域:		面積(ha)				
地区:		整備戸数(戸)				
団地:		(うち、公営住宅)				
		居住人口(人)				
		整備費用(千円)				事業計画:
		用地取得費				用地取得•調査設計:
		住宅敷地造成費				造成工事:
		関連公共施設造成費				